

2025年度事業計画書

1. 教育・研修事業（旧 中小企業従業員に対する海外派遣事業）

事業名の変更について、2024年度までの理事会・評議員会で、定款変更を含めて財団内の手続きを完了、行政庁との調整を行っている。

2025年度から教育・研修事業として、子どもから大人まで幅広い年齢層を対象とした事業を安定・継続的に実施する。

(1) 金融及び千葉県に関する教育

○金融及び千葉県の歴史・発展を学ぶ教育イベントを開催

2024年度は、金融資料室を活用し、小学生向けイベント「キッズセミナーお金のはなし」を夏休み2回、冬休み2回、計4回開催した。（春休みも2回予定）

2025年度は、セミナー募集の対象を広げ春・夏・冬休み等に、金融・経済を学ぶイベントを開催する。

○金融資料室で常時学べる教育プログラムを実施

①イベント日以外においても、金融・経済の歴史や発展を学習できるスタンプラリーなどのプログラムを実施する。

また、学校等の団体受け入れを可能なプログラムを構築する。

②金融資料室を活用し千葉県の歴史や発展の理解を深めるプログラムを構築する。

(2) 中小企業従業員に対する海外派遣

○2020年度より新型コロナウイルスの影響等により中止

感染症の影響は減少したものの、地政学的リスク、円安、渡航費の高騰等が続いており、研修目的での海外渡航に対する企業側の慎重姿勢は解消されていない。

今年度の再開は見送り、座学セミナーの検討及び上記(1)の拡充に注力する。

2. 文化芸術振興事業（旧 県内幼稚園でのオーケストラ公演事業）

これまでの幼稚園に限定したオーケストラ公演事業としていたが、広く一般の方々に芸術を鑑賞していただく広範な事業を目指す。

(1) 県内の幼稚園・こども園へのオーケストラ等派遣公演

○公益財団法人千葉県文化振興財団との共催事業として継続実施

開催園数：20園（オーケストラ16園、和楽器4園）

公演時期：2025年11月～2026年3月

助成金額：4,000千円

公演のダイジェスト動画の配信を継続、園児の家族や一般の方々にも楽しんでいただき、活動を理解していただくよう努める。

(2) 文化芸術公演の実施

○クラシックコンサートや幼児・小学生を対象としたコンサートの開催、協賛等、幅広い世代の方々に芸術を鑑賞していただくなど、文化芸術の振興に寄与する事業を実施する。

3. 「ちばぎん金融資料室」の管理運営事業

○2023年5月から、ちばぎん本店ビルにてリニューアルオープン。

営業日：月～金曜日（銀行営業日と同一、土・日・祝日・年末年始休室）

営業時間：9～17時

受託料：年間3,000千円

○公益事業への転換を検討

金融資料室は、現在は千葉銀行から委託を受けている収益事業としての位置付けであるが、リニューアルで子供向け教育コンテンツが増加し、金融を学ぶ不特定かつ多数の方への利益に寄与する施設となっている。

当財団が主体となって運営管理を行っていることから、上記1の事業の一部として公益事業への転換を図っていく（2026年度以降）。

4. 福祉目的の貸付金の管理・回収業務

2025年3月末残高見込	1,350千円
2025年度回収額	200千円
2026年3月末残高見込	1,150千円

2025年度資金調達及び設備投資の見込み

- | | |
|-----------------|-----------------------------------|
| 1. 資金調達の見込みについて | 当期中に資金調達の予定はありません。 |
| 2. 設備投資の見込みについて | 当期中に重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定はありません。 |

以上